

診療情報及び診療時に採取・保管された検体を用いた研究に関するお知らせ

愛知県がんセンター

愛知県がんセンターでの診療情報および診療時に採取・保管された検体を
下記機関に提供し、下記研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究責任者	丹羽康正
2. 研究課題名	早期胃癌内視鏡治療切除例における異時性多発胃癌発生に関する研究(JCOG0607A1)
3. 研究の目的・方法	早期胃癌を内視鏡切除し治療した症例の治療後に発生する胃癌の頻度およびその胃癌発生の危険因子を探求する 研究期間:平成30年9月6日から2年間 (遺伝子解析:②行わない)
4. 研究の対象となる方	JCOG0607「早期胃癌における内視鏡的粘膜切除術の適応拡大に対する第Ⅱ相試験」に参加された患者さん
5. 研究に用いる検体・情報の種類	検体名() 診療情報内容(患者背景:登録時年齢、性別、PS、腫瘍マーカー(CEA、CA19-9)、原発巣の病変背景:肉眼型、主占居部位(領域区分、断面区分)、組織学的所見(組織型、組織学的深達度、腫瘍長径、組織学的潰瘍の有無)、追跡調査結果:転帰(生存/死亡、最終生存確認日または死亡日、死因))
6. 他機関への提供方法	診療情報は記録用紙(CRF)に記載し、郵送にてデータセンターへ提出する。CRFには患者登録番号を使用し、個人情報漏洩しないようにする。対応表は内視鏡部 田近正洋が厳重に管理する。
7. 利用する者の範囲	JCOG(日本臨床腫瘍グループ研究)消化器内視鏡グループ 研究代表者 静岡県立静岡がんセンター 小野裕之 JCOGデータセンター

① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当センターの倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。

個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。

また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。

② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いること、提供を拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

